

JP通信



釧路空港そらフェス最高でした♪

秋は暖かめ・一月以降の気温は低く雪も多くなる可能性あり？

2024～2025年の冬は寒いのか暖かいのか？

今年の夏は高温多雨で残暑も厳しい日が続きましたが、九月以降はどのような天候になるのでしょうか？暖冬や冷夏といった季節の傾向を左右するのが熱帯の海面水温の分布。ラニーニャ現象は、赤道付近で常に吹いている貿易風と呼ばれる東風が平常時よりも強くなり、海面付近の暖かい海水が太平洋赤道域の西部に蓄積し、反対に東部では冷たい海水の沸き上がりが平常時よりも強くなつて海面水温が低下します。

今年九月現在で、道内のヒグマ目撃情報は二千百件にも上るそう。釧路市のラインでも目撃情報のメッセージが届きますが、弊社のスタッフも車で走行中に目撃しています。非常に怖いですね。近年では、市街地に出没する熊『アーバンベア』という言葉もよく聞くようになりました。これまで熊は警戒心の強い動物とされ、人の気配を感じればあまり寒くならないで欲しいですね



できればあまり寒くならないで欲しいですね

ヒグマに出会わない工夫要

今年九月現在で、道内のヒグマ目撃情報は二千百件にも上るそう。釧路市のラインでも目撃情報のメッセージが届きますが、弊社のスタッフも車で走行中に目撃しています。非常に怖いですね。近年では、市街地に出没する熊『アーバンベア』という言葉もよく聞くようになりました。これまで熊は警戒心の強い動物とされ、人の気配を感じればあまり寒くならないで欲しいですね



ヒグマの足跡を見つけた時も通報

◆炭鉱展示館に行ってみた◆

旧太平洋炭礦 炭鉱展示館

地元の方よりも観光客の方が多い？と思われる、桜ヶ岡3丁目にある『炭鉱展示館』へ行ってみました！受付は、展示館の向かいにある事務所で。入館者の氏名を記入し、鍵を開けていただき、いざ展示館へ(入館料1人300円)。まず初めに目に入るのは、入口すぐに置いてある『日本一の大塊炭』！左下に写真を載せていますが、6.048トンもあるそうですよ！陸上最大といわれるアフリカゾウのオスに匹敵する重さです。しかし日本一の塊とはすごいですね！その塊を眺めつつ先へ進むと、たくさんの展示物があります。炭鉱内部の模型や炭鉱の歴史など、見所満載！じっくりと掲載物を読んでみるのも楽しいですね。そして先へ進むと地下への階段が。降りていくと、外からは想像できない程の大きな展示物！実際の炭鉱内部の様子を再現している、とてもすごい施設です。先端に爪がたくさんついたドリルがあり、それを使ってどんどん掘っていき、掘り出した石炭は後方へベルトコンベアで流れていく巨大な機械などが展示されています。実際に稼働すると、きつととても大きな音で会話もままならなかったのではないかと想像します。海の底へ降りて石炭を採掘する作業は、とてつもない労力だったと思います。皆様もぜひ体感してみてください！

人や生活音にも慣れてしまい、警戒心も薄れ、明るい時間帯にも出没して人と接触する危険性が非常に高くなっています。もしも実際に遭遇してしまったら、背を向けて逃げ出すのは危険だそうです。熊を見たまま、ゆっくり後退するなど、落ちて着いて距離を取るようにと言われています。今や真冬を除き、ヒグマには注意が必要ですね。野山では特に、食べ物やゴミは必ず持ち帰る、一人で行動しない等徹底しましょう。熊を目撃した時は役場または警察へ連絡を！

こちらにも展示館の写真を。スタッフの姿で大きさがなんとなく伝わりますか？

